



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場会社名 株式会社よみうりランド 上場取引所 東  
 コード番号 9671 URL http://www.yomiuriland.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 武志  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部担当 (氏名) 関野 治彦 (TEL) 044-966-1134  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,200	3.0	670	16.8	1,014	16.9	720	27.5
27年3月期第1四半期	4,077	△2.1	574	△30.5	867	△18.6	565	△16.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,372百万円(65.6%) 27年3月期第1四半期 828百万円(△60.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	9.32	—
27年3月期第1四半期	7.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	62,890	22,700	36.1
27年3月期	61,454	21,521	35.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 22,700百万円 27年3月期 21,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,484	△1.4	825	△34.5	1,224	△28.6	891	△16.1	11.54
通期	17,030	△1.5	721	△68.3	1,435	△53.5	717	△59.4	9.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	83,522,024株	27年3月期	83,522,024株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	6,223,782株	27年3月期	6,223,111株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	77,298,558株	27年3月期1Q	77,565,680株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益に改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続き、当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費も持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、消費者マインドの回復のテンポは緩やかであり、まだら模様の様相を呈しております。

このような状況の下、当社は所有地の効率的な活用による事業の拡大とともに、独自の企画による他施設との差別化と、営業拠点間の連携による相乗効果を図ってまいりました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同四半期比1日減となる15日開催されました。6月には重賞「関東オークス」が開催され盛り上がりを見せました。また、JRAの場外発売「ウインズ川崎」は、前年同様26日実施されました。ナイター競馬開催時の馬場内芝生広場におけるパーベキュー広場の実施や、ウインズ川崎開催日に合わせ「神奈川キャンピングカーフェア」などのイベントを開催したことも奏功し、本場、ウインズ川崎ともに前年を上回る入場者で賑わいを見せました。なお、来年春のオープンを予定しております商業施設「マーケットスクエア川崎イースト」の建設工事は順調に進んでおります。船橋競馬は、前年同様15日開催されました。5月にビッグレース「かしわ記念」が開催され、同日に主催した恒例の「おうまフェス2015～親子であそぼ。～」では、多くのイベントを開催し好評を博しました。また、6月からスタートしたナイター競馬「ハートビートナイター」には仕事帰りのサラリーマンや若者など幅広い客層が訪れ、大いに盛り上がりを見せております。なお、JRAの場外発売「J-PLACE船橋」は前年同様13日実施されました。船橋オートレースは、前年同四半期比1日増となる18日開催されました。5月に恒例のGI「黒潮杯」が開催され盛り上がりを見せました。なお、施行者である千葉県及び船橋市より、本年度末をもって船橋オートレース事業を廃止するとの発表がなされております。また、競輪場外車券売場「サテライト船橋」での発売は、前年同四半期比1日増の90日実施されました。なお、通期の開催日数につきましては、川崎競馬、船橋競馬、船橋オートレースとも前年と同数となる予定です。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、数年来強化している外部営業が奏功し、大口コンペの新規獲得や継続利用などにより、入場者は増加いたしました。なお、前年に張り替えた耐暑性に優れたペント芝はプレーヤーから好評をいただいております。よみうりゴルフ倶楽部は、多様な自主コンペの開催などにより、入場者は増加いたしました。施設面では本年4月にリニューアルした女性浴室やパウダールームなどが女性プレーヤーから好評を博しております。また、クラブハウスのレストランにて、遊園地のイベント「ほたるの宵」と連携した恒例のディナーイベントを開催し好評をいただきました。本年30周年を迎える静岡よみうりカントリークラブは、30周年記念を冠した企画を開催し、プレーヤーから好評をいただいているものの、近隣ゴルフ場の割引施策の影響などにより入場者は減少いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、各種の優待施策を実施したものの、4月の荒天の影響などにより、入場者は減少いたしました。

遊園地部門の遊園地では、春にお花見遊園地「Dream Sakura 2015～僕らのハル!!」を開催し好評を博しました。ゴールデンウィークには5回目を数える「全国ご当地大グルメ祭2015」を過去最大規模で開催し、前年を上回る売上を記録いたしました。また、全天候型多目的ホール日テレらんらんホールでは、お笑い芸人によるアシカショー「アシカ笑(しょう)」を開催したほか、太陽の広場ステージでの「お祭りステージ」や「多摩ご当地キャラ祭り」など多数のイベントを開催した結果、期間中の入園者は前年を大きく上回る盛り上がりを見せました。初夏に開催した恒例のほたる観賞イベント「ほたるの宵」は、大手菓子メーカーとコラボレートしたイベントが好評を博しました。また、丘の湯やよみうりゴルフ倶楽部などの周辺施設が、「ほたるの宵」と連携し関連イベントを開催したところ、それぞれの顧客が相互に来場し合うなどの相乗効果を生み出しております。これらの結果、入園者は増加いたしました。温浴施設「丘の湯」は、様々なイベントを開催し好評を得ましたが、4月の荒天の影響により入場者は減少いたしました。なお、丘の湯ブラザの中華レストランにて「ほたるの宵」と連携した恒例の「天安 ほたるの宵 特別ディナー」を昨年に続き実施し、好評を博しました。温浴施設「季乃彩(ときのいろどり)」は、変わり湯などのイベントを実施した結果、リニューアル工事に伴い休館日が多かった前年に比べ、入場者は増加いたしました。ゴルフガーデン(練習場)は、ゴールデンウィークなどに開催したイベントが好評を博し、4月の荒天の影響などがあったものの、入場者は前年並みに推移いたしました。親子向け屋内遊戯施設「キドキドよみうりランド店」は、遊園地内でキドキドの体験会を実施したほか、「ほたるの宵」と連携したイベントを開催し好評を博したものの、6月に集客の多い土日の雨天日が減少したことなどにより、入場者は減少いたしました。昨年11月に商業施設「グランツリー武蔵小杉」内に出店した「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」は、予想を上回る入場者で好調に推移いたしております。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は36億9千6百万円(前年同四半期比3.0%増)となりました。

また、不動産事業の売上高は3億4千万円(同0.3%増)、サポートサービス事業の売上高は、前年同四半期は連結内部からの大型工事があったため、5億7千7百万円(同34.2%減)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は42億円(前年同四半期比3.0%増)、営業利益は6億7千万円(同16.8%増)、経常利益は10億1千4百万円(同16.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千万円(同27.5%増)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、おおむね当初の計画通りに業績が推移するものと見込んでいるため、平成27年5月13日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,755,183	1,999,142
受取手形及び売掛金	1,350,193	1,360,567
たな卸資産	126,764	190,412
繰延税金資産	129,403	101,108
その他	551,270	829,425
貸倒引当金	△806	—
流動資産合計	5,912,009	4,480,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,526,270	19,715,516
土地	15,568,647	15,571,830
建設仮勘定	5,331,740	7,133,528
その他(純額)	1,724,159	1,695,801
有形固定資産合計	42,150,817	44,116,676
無形固定資産		
その他	95,462	96,866
無形固定資産合計	95,462	96,866
投資その他の資産		
投資有価証券	12,658,034	13,620,941
繰延税金資産	172,070	170,570
その他	465,894	405,060
投資その他の資産合計	13,295,999	14,196,571
固定資産合計	55,542,279	58,410,114
資産合計	61,454,288	62,890,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	603,905	379,550
短期借入金	1,570,000	2,010,000
未払法人税等	295,519	333,962
賞与引当金	124,885	32,316
その他	3,633,129	3,473,792
流動負債合計	6,227,439	6,229,621
固定負債		
長期借入金	6,000,000	6,000,000
繰延税金負債	2,629,533	2,926,456
退職給付に係る負債	508,497	518,943
長期預り金	24,170,146	24,125,892
その他	396,994	389,479
固定負債合計	33,705,171	33,960,771
負債合計	39,932,611	40,190,392
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,552	4,730,552
利益剰余金	8,176,857	8,703,949
自己株式	△2,105,258	△2,105,568
株主資本合計	16,855,182	17,381,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,667,120	5,318,998
繰延ヘッジ損益	△625	△583
その他の包括利益累計額合計	4,666,494	5,318,415
純資産合計	21,521,676	22,700,379
負債純資産合計	61,454,288	62,890,771

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,077,878	4,200,851
売上原価	3,061,890	3,045,412
売上総利益	1,015,988	1,155,438
販売費及び一般管理費	441,544	484,515
営業利益	574,443	670,923
営業外収益		
受取配当金	151,847	128,614
建設発生土受入金	130,885	159,337
その他	15,399	64,287
営業外収益合計	298,132	352,239
営業外費用		
支払利息	4,164	7,926
その他	936	739
営業外費用合計	5,100	8,666
経常利益	867,475	1,014,496
特別利益		
固定資産売却益	—	99,966
特別利益合計	—	99,966
特別損失		
固定資産除却損	50,642	44,600
特別損失合計	50,642	44,600
税金等調整前四半期純利益	816,832	1,069,862
法人税、住民税及び事業税	250,642	333,853
法人税等調整額	1,138	15,669
法人税等合計	251,780	349,522
四半期純利益	565,052	720,339
親会社株主に帰属する四半期純利益	565,052	720,339



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	565,052	720,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263,357	651,877
繰延ヘッジ損益	—	42
その他の包括利益合計	263,357	651,920
四半期包括利益	828,409	1,372,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	828,409	1,372,259
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,586,804	338,796	152,277	4,077,878	—	4,077,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,843	619	725,975	729,438	△729,438	—
計	3,589,647	339,415	878,253	4,807,316	△729,438	4,077,878
セグメント利益	712,037	213,322	79,970	1,005,329	△430,886	574,443

(注) 1. セグメント利益の調整額△430,886千円には、セグメント間取引消去△34,868千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△396,017千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,694,941	339,635	166,275	4,200,851	—	4,200,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,423	900	411,695	414,018	△414,018	—
計	3,696,364	340,535	577,970	4,614,870	△414,018	4,200,851
セグメント利益	854,376	218,784	37,216	1,110,377	△439,454	670,923

(注) 1. セグメント利益の調整額△439,454千円には、セグメント間取引消去1,408千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△440,862千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。